

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料1-1

分野	括り	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月以降	備考			
				19	26	3	10	17	24	31	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中			下		
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現場作業	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																								(継続運転)	3号機 原子炉建屋滞留水水位低下(TP-2800目標) 実施 (2022/6/1~) 【7/28時点水位 約TP-2100】 ※段階的に水位低下実施
		【α核種除去設備検討】	設計・検討	詳細設計・工事																								(2023年度 工事了り予定)	
		【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討	設計検討																								(2023年度 設計完了予定)	
		【滞留水一時貯留タンク設計】	設計・検討	詳細設計・工事																								(2024年度 工事了り予定)	
		【プロセス主建屋・高温焼却建屋ゼオライト土質の検討】	設計・検討	詳細設計・工事																								(2024年内 工事了り予定)	
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																								(継続運転)	処理水及びタンクのインサース状況に応じて適宜運転または処理停止 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請 (2022/4/28認可) 高性能多核種除去設備 除去性能確認に係る実施計画変更申請 (2022/7/25申請)
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																								(継続運転)	サブドレン及びみ上げ、運用開始 (2015.9.3~) 排水開始 (2015.9.14~) 5/6号機サブドレンの復旧・及びみ上げ・運用開始 (2022.3~)
		【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現場作業	運転																								(継続運転)	
		【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																								(継続運転)	2021年1月29日 吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可(原規規第2101291号) 使用前検査: 2022年7月21日(第二セシウム吸着装置1号) 使用前検査予定: 2022年7月28日(第二セシウム吸着装置2号) 2022年8月(第二セシウム吸着装置3号) サイトハンカ建屋天井クレーン不具合事象(2022年6月22日)に伴い、第三セシウム吸着装置使用前検査工程再検討中。
	陸側排水壁	(実績・予定) ・東濃結団所補助工法は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現場作業	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																								(継続運転)	
フェーシング(陸側排水壁内エリア)	【陸士体内フェーシング(全6万㎡)】 ・4号機建屋西側	現場作業	4号機建屋西側																								(継続運転)	4号機建屋西側: 2023年2月完了予定	
	3号機R/B 燃料取出用カバー 雨水対策 その2 (カバー南側の対策)	(実績) ・2022年6月24日 雨樋設置完了	現場作業	(2022年6月24日 工事完了)																									

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	括弧	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月以降	備考				
				19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	3	10	17	24	31							
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
●タンク関連		H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	現場作業	モニタリング																								(継続実施)	
		タンク解体	(予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事 : 49基解体予定 (2023年度中) ・Eエリアフランジタンク (D1) 内の残水回収 (スラッジ含む) (実績) 解体基数 46基/49基	現場作業	Eエリアフランジタンク解体工事																								(2023年3月解体完了予定)* ※: 残水回収中の1基(D1タンク)を除く	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について (実施計画変更認可)
		タンク設置	・G4北エリア溶接タンク設置工事 (実績) 設置基数 6基/6基 設置完了 ・G5エリア溶接タンク設置工事 (実績) 設置基数 17基/17基 付帯設備 (煙等) 設置作業中	現場作業	G4北エリア溶接タンク設置工事																									2021年11月5日 中低濃度タンク (G4 北、G5 エリア) の設置等の実施計画変更認可 (新規規程第2111054号) G4北: 2022年6月3日使用前検査受検完了、6月21日終了証受領 G5: 2022年9月使用前検査受検予定
●自然災害対策		津波対策	○日本海溝津波対策 ・日本海溝津波対策防波堤設置 (実績・予定) 斜面補強構築工事 本体構築工事 ○サブドレン腐水設備高台機能移転 (実績・予定) ろ過水タンク西側整備工事実施 地盤改良 (準備中)	現場作業	斜面補強・本体構築工事																								(2024年3月 工事完了予定)	2024年3月完了予定 現場着手: 2021/06/21開始 斜面補強部: 2021年9月14日作業開始 防波堤本体部: 2022年2月15日作業開始
		豪雨対策	○豪雨対策 ・D排水路新設 (実績) (7月25日時点) 立坑構築工 (高発進立坑部) 75% 立坑構築工 (上流側到達立坑部) 100% 立坑構築工 (下流側到達立坑部) 95% 立坑構築工 (小口径推進部) 85% M+設置工 (各立坑) 50% トンネル工・推進管据付 (下流側) 完了 (上流側) 完了	現場作業	立坑構築工事 (高発進立坑部、下流側到達立坑部、上流側到達立坑部、小口径推進部)																								(2022年8月 排水路工事完了予定)	準備工事 (高発進立坑ヤード整備): 2021年2月25日開始 トンネル工事: 2021/07/29開始、2021/09/16初期掘進開始、2021/9/28本掘進開始 2022/01/28に下流側掘進完了 2022/04/21に上流側掘進完了
				現場作業	ろ過水タンク西側整備 (ろ過水配管リルート工事) 地盤改良工事 (準備) 実施中																								(2024年度初旬 工事完了予定)	
				現場作業	モニタリング関連設備整備工事																								(2023年2月 モニタリング設備 2系統化完了予定)	

水処理設備の運転状況, 運転計画
(2022年7月15日～2022年8月18日)

2022年8月5日
東京電力ホールディングス株式会社

既設多核種除去設備

	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)
A	計画停止							点検停止		計画停止											点検停止														
B	計画停止							点検停止		計画停止											←														
C	点検停止	計画停止		点検停止	計画停止			点検停止	計画停止	点検停止	計画停止																								

増設多核種除去設備

	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)
A	点検停止							←		点検停止		←		計画停止		点検停止		←		計画停止		点検停止		←											
B	点検停止																																		
C	←	計画停止	点検停止	←	計画停止	点検停止																													

高性能多核種除去設備

	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)
A	計画停止							点検停止		計画停止																									

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)
SARRY	点検停止							←		計画停止		←		計画停止		←		計画停止		←															
SARRY2	←							計画停止																											
KURION	計画停止																																		

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について

2022年8月5日

(2022年7月15日～2022年8月4日)

東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			HPCI室	トラス室												
7月15日	-2064	-2877	-2148	-2146	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-173	10	961
7月16日	-2049	-2896	-2147	-2146	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-167	100	961
7月17日	-2076	-2886	-2152	-2150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-158	89	961
7月18日	-2065	-2893	-2159	-2150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-151	12	962
7月19日	-2066	-2882	-2161	-2136	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-142	-71	961
7月20日	-2071	-2894	-2150	-2118	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-135	-152	962
7月21日	-2059	-2887	-2155	-2099	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-130	-234	962
7月22日	-2057	-2887	-2157	-2099	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-122	-124	961
7月23日	-2066	-2882	-2143	-2103	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-220	-3	961
7月24日	-2058	-2905	-2150	-2115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-213	-78	961
7月25日	-2074	-2886	-2155	-2134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-206	-156	961
7月26日	-2071	-2908	-2157	-2138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-200	-47	961
7月27日	-2060	-2887	-2155	-2138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-184	-39	962
7月28日	-2074	-2908	-2154	-2138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-176	90	961
7月29日	-2061	-2891	-2155	-2141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-166	213	962
7月30日	-2077	-2898	-2157	-2141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-155	155	964
7月31日	-2066	-2894	-2157	-2143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-146	-67	979
8月1日	-2055	-2893	-2157	-2141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-137	-292	996
8月2日	-2080	-2835	-2155	-2138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-82	-514	1018
8月3日	-2071	-2905	-2157	-2141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-50	-359	1031
8月4日	-2051	-2894	-2155	-2110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-34	-176	1045
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796	-4796	-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	2358

備考欄

※ T.P.表記 (単位:mm)

※ 5時時点の水位

※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)

※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)

※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)

※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

※ 2～4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

※ 2～4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

※ サイトバンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送した経緯があり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。

《当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。》

なお、これまでは水位計の測定下限値(約T.P.2700mm)以下まで水位低下処置し監視を行ってきたが、さらに建屋サンプルの水位変動を確認するため、2022年4月19日より水位計を移設し連続監視を行う事とした。

各エリア別タンク一覧

1~4号機用汚染水貯蔵タンク

Table with columns: 運エリア, 基数, 1基あたり容量, タンク型, 貯蔵水, H水位, H容量/基, 0%以下貯蔵量, 0%以上貯蔵量, 実容量, 水位管理 (水, スロッシング, HANN, HHANN), 放射能濃度 (Cs-134, Cs-137, Co-60, Mn-54, Sb-125, Ru-106, Sr-90), 測定時期, 概略使用開始時期. Rows include tanks B, B南, C, D, E, G1, G1南, G3東, G3西, G3北, G4南, G4北, G4北, G4南, G5, G6, G7, H1, H1東, H2, H3, H4北, H4南, H5, H6(I), H6(II), H8北, H8南, J1, J2, J3, J4, J5, J6, J7, J8, J9, K1北, K1南, K2, K3, K4, and 多核種除去設備. Includes a summary table at the bottom for tanks D and H2.

赤字はアウトオブサービス済の基数 ※実容量には、タンク底部から水位計0%の水量(DS分)を含まない。

下線部は今回の変更箇所 ※1 濃縮塩水/Sr処理水等を貯留した実績あり(G3西及びJ1の一部) ※2 Sr処理水等を貯蔵した実績のあるタンクを再利用したものを含む 再利用した基数 G3西:30, G3北:6, H8南:8, J1:8, K1南:10, K2:26 ※3 多核種除去設備処理水(ALPS処理水等)の放射能濃度について、当社「処理水ポータルサイト」に掲載のデータを参照(3ヶ月毎にデータ更新) 処理水ポータルサイトのURLは以下のとおりです。4ページ中段にある「貯蔵タンクエリア毎の放射能濃度を詳しくみる」をクリックすると、分析結果が表示されます。 https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/ ※4 多核種除去設備、高性能多核種除去設備、増設多核種除去設備のサンプルタンクは貯留用タンクではなく水の入れ替わりがあることから、分析対象外とする。

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.7.21時点)

リスク観点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs-134: <1.0E1 Cs-137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H-3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs-134: 1.1E1 Cs-137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H-3: 1.1E2 (2015.11.2)		
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上層】 Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)		
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約6,800 (2022.6.13時点)	Cs-134: 2.2E0 Cs-137: 8.6E1 (2022.5.18)	2.7E0 8.0E1 (2022.6.15)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5,400 (2022.6.13時点)	Cs-134: 7.7E0 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)		5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)		
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65*1 (2019.2.1時点)	Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を 実測して算出	
9	5. 6号機逆洗弁ピット及び吐出し弁ピット	・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 (2022.2.1)		
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)		
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)		
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上層】 Cs-134: 6.4E1 Cs-137: 2.6E3 (2022.5.26) 全β: 4.4E1 (2020.7.29)		
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上層】 Cs-134: ND Cs-137: 1.2E2 (2022.5.26) 全β: 8.9E0 (2020.7.29)		
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs-134: 2.9E+4 Cs-137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留	
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	・2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,560 (2022.3.22)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 H-3: 3.7E5 Sr-90: ND (2022.5.6)	2020.3.18より1~3号機炉注水源としての運用開始	
					【2号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.6E+02 Cs-137: 1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)		
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	・3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,980 (2022.3.22)	【3号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.9E+2 Cs-137: 3.5E+3 全β: 6.3E+3 H-3: 7.5E+5 (2020.7.16)	RO処理水を貯留 1~3号機炉注水源	
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 6.3E3 (2022.6.7) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未達(一部残水あり) (2018.9.26時点)	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.7.21時点)

リスク観点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 8.4E3 (2022.6.8) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 8.5E3 (2022.6.10) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1~4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト (2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~170 (2022.1)	Cs-134: ND~2.5E2 Cs-137: 1.4E2~8.3E3 全β: 1.4E2~7.7E3 H-3: ND~7.6E2 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1) 「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 9.3E1 全β: 1.1E2 H-3: ND (2022.1.13)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約410 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 4.1E1 全β: 4.5E1 (2022.1.13)	
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2022.1)	Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)	
28	1~4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1~4号機周辺	約6~830 (2022.1)	Cs-134: ND~1.0E1 Cs-137: 1.1E1~2.5E2 全β: 1.9E1~2.5E2 H-3: ND (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1) 「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1~4号機周辺 「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134: 5.6E3 Cs-137: 2.1E5 全β: 2.1E5 H-3: 3.5E3 (2022.5.9)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディーブウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	【No.47,48】 Cs-134: ND~3.9E1 Cs-137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)	
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約5,220 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 3.9E1 Cs-137: 1.5E3 全β: 2.0E3 H-3: ND (2022.6.20)	4.8E1 1.6E3 1.9E3 ND (2022.7.18)
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2~4号機タービン建屋海側	約5,350 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 1.4E1 Cs-137: 5.2E2 全β: 1.1E3 H-3: ND (2022.6.20)	2.2E1 7.0E2 1.2E3 1.1E2 (2022.7.18)
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3~4号機タービン建屋海側	約3,360 (2022.1)	Cs-134: 2.6E1 Cs-137: 6.5E2 全β: 8.2E2 H-3: 1.4E2 (2022.5.11)	2.0E1 6.4E2 8.1E2 1.5E2 (2022.6.8)
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全γ放射能: 3.1E1 全β放射能: - (2014.5.23)	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.7.21時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1000 (2022.3.24)	Cs-134: ND Cs-137: ND Co-60: 7.7E1 (2022.5.10)	ND ND 6.2E1 (2022.6.8)	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1650 (2022.3.24)	Cs-134: ND Cs-137: ND Co-60: ND (2022.5.13)	ND ND ND (2022.6.14)	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,870 (2022.1)	Cs-134: ND~1.7E0 Cs-137: ND~5.1E1 (2022.1)		量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs-134: 1.0E+1 Cs-137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)		
41	SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs-134: 8.0E+4 Cs-137: 1.8E+5 Co-60: 6.5E+2 (2013.8.27)		プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs-134: ND Cs-137: ND~2.5E1 (2022.6.22)	ND ND=4.1E1 (2022.7.20)	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)		震災後、坂下ダム補給水を貯留
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約10,100 (2022.6.16時点)	[5号機] Cs-134: ND Cs-137: 9.9E-1 全β: ND H-3: ND (2022.5.19) [6号機] Cs-134: ND Cs-137: 1.4E0 全β: ND H-3: ND (2022.5.20)	ND 1.2E0 ND ND (2022.6.16) ND 1.1E0 ND ND (2022.6.17)	
46	排気筒ドレンサンブピット	・1/2号排気筒ドレンサンブピット ・3/4号排気筒ドレンサンブピット ・5/6号排気筒ドレンサンブピット ・集中RW排気筒ドレンサンブピット	1~4号機周辺 1~4号機周辺 5/6号機周辺 1~4号機周辺	約0.3 [※] <small>※適宜溜まり水の移送を実施</small> 約2 約7.6 (2020.3.12) 約10	Cs-134: 5.8E4 Cs-137: 2.2E6 全β: 4.3E6 (2022.4.26) Cs-134: 1.5E1 Cs-137: 5.7E2 全β: 6.5E3 (2022.3.31) Cs-134: ND Cs-137: 9.5E0 全β: ND (2022.3.30) Cs-134: 1.3E1 Cs-137: 3.0E2 全β: 2.7E2 (2022.2.16)	8.8E4 3.4E6 3.4E6 (2022.5.30)	2019.10.12以降、水位低下傾向が確認された。 (2019.11.27) 2022.3.29の調査で流入箇所を特定したことから、今後流入抑制対策を実施していく。 (2022.4.27)
47	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)		

建屋内における残水等の状況について

No.	号機	建屋	対象エリア	区分	区分の判断日※1	運用目標値 /基準値(mm)	測定頻度	今回			1回前			2回前			最終排水実績	排水計画	床面(mm)	水位計の有無	水位調整不可能予定時期	備考	
								確認日	水位	1回前との水位差(mm)	確認日	水位	2回前との水位差(mm)	確認日	水位	3回前との水位差(mm)							
1	1号機	T/B	電気マンホールNo.1	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3.023	1回/月	2022/7/4	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2019/10/28	-	T.P. 1,743	無	完了済	大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。	
			電気マンホールNo.2	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 2,293	1回/月	2022/7/4	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2021/10/26	-	T.P. 1,743	無	完了済	大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。	
			主油タンク室	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3,463	1回/月	2022/7/4	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 3,443	無	完了済		
			復水脱塩装置樹脂貯蔵タンク室	排水完了エリア	2017/7/27	T.P. 2,063	1回/3ヶ月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 2,043	無	完了済		
			ハウスボイラ室	排水完了エリア	2017/7/11	T.P. 2,250	1回/月	2022/7/4	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2021/9/7	-	T.P. 943	有(露出)	完了済		
			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2017/7/19	T.P. 1,926	1回/月	2022/7/4	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2021/9/15	-	T.P. 543	有(露出)	完了済		
			床ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	2022/7/4	T.P. -734	-	2022/6/8	T.P. -708	-	2022/5/12	T.P. -721	-	-	-	-	有	完了済	
			機器ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済	
			復水ポンプ配管トレンチ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	2022/7/4	T.P. 11	-	2022/6/8	T.P. 9	-	2022/5/12	T.P. 5	-	-	-	T.P. -857	有	完了済	水位は仮設水位計にて計測
			復水ポンプピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済	
復水ポンプピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済				
復水ポンプピット(C)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済				
給水加熱器ドレンポンプピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済				
給水加熱器ドレンポンプピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済				
11	Rw/B	LDT室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/4	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
12		FSST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/4	T.P. 74	0	2022/6/13	T.P. 74	0	2022/6/8	T.P. 74	10	2022/3/8	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
13		OGST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/4	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
14		床ドレンサンプ(A)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済			
15		床ドレンサンプ(B)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済			
16		高電導度廃液サンプ	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済			
17	2号機	T/B	低圧復水ポンプエリア	建屋貯留水	-	-	-	2022/7/5	測定困難※4	-	2022/6/8	測定困難※4	-	2022/5/12	測定困難※4	-	-	-	T.P. -1,752	無	-	復水器エリアと連通性有※2	
18			C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/1/31	T.P. 1,599	1回/月	2022/7/5	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2018/1/26	-	T.P. 448	無	完了済		
19			C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/1/18	T.P. 1,644	1回/月	2022/7/5	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2018/1/15	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
20			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/26	T.P. 1,668	1回/月	2022/7/5	T.P. 478	0	2022/6/13	T.P. 478	0	2022/6/7	T.P. 478	10	2021/9/9	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
21			スイッチギア室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/5	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
22			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/5	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
23			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/5	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
24			消火ポンプ室(水位計設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/5	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2020/9/16	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
25			消火ポンプ室(ポンプ設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/5	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2020/6/29	-	T.P. 448	無	完了済		
26			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/5	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
27	3号機	T/B	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	-	-	-	-	T.P. 448	無	-	復水器エリアと連通性有※2		
28			T/B地下階北東廊下 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 463	無	-	復水器エリアと連通性有※2	
29			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/6	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
30			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/6	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
31			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/6	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
32			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/6	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
33			電気油圧式制御装置室	排水完了エリア	2018/2/2	T.P. 1,725	1回/月	2022/7/6	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2019/6/14	-	T.P. 463	無	完了済		
34			消火ポンプ室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,644	1回/月	2022/7/6	T.P. 513	20	2022/6/13	T.P. 493	0	2022/6/8	T.P. 493	0	2022/2/15	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
35			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,665	1回/月	2022/7/6	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2020/10/6	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
36			C/Bエリア	建屋貯留水	-	-	1回/日	2022/7/6	測定下限値以下※6	-	2022/6/8	測定下限値以下※6	-	2022/5/12	測定下限値以下※6	-	2020/10/2	-	T.P. -1,737	有	完了済	継続した水位上昇を確認。継続して排水する措置を実施済み。	
37	4号機	T/B	C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1,683	1回/月	2022/7/7	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2018/1/24	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
38			C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1,636	1回/月	2022/7/7	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2018/10/23	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
39			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/23	T.P. 1,622	1回/月	2022/7/7	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2020/10/14	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
40			M/Cエリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/7	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
41			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/7	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
42			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/7/7	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
42	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 461	無	-	復水器エリアと連通性有※2			

※1:現状の滞留水水位より床面が低く、将来的な水位低下によって孤立すると想定されるエリアについては、運転上の制限(建屋滞留水<サブドレン水位)を満足する時期で調査を行い、区分分けするように計画する。

※2:2018/3/8,2018/4/24 面談資料参照。

※3:1号機タービン建屋は、現在、床ドレンサンプ内で水位管理を行っているため、T.P.443として管理(2018/4/6面談資料参照)

※4:連通のある復水器エリアは、連通高さ(T.P.-1527mm)以下にある床ドレンサンプで水位を制御しているため、連通高さを超えてから水位を記載する。

※5:床面露出。中間地下階のため、再冠水の可能性は低い。

※6:床面露出。床面(T.P.-1737mm)以下にあるストームドレンサンプで水位を制御しているため、床面高さを超えてから水位を記載する。

2022/7/7 0:00 時点の各建屋水位

建屋	1号機			2号機			3号機			4号機		
	R/B	Rw/B	T/B※6	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B
滞留水の水位	T.P. -2,020	除去完了	除去完了	T.P. -2,825	除去完了	除去完了	T.P. -2,127	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了
周辺サブドレン設定値	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650

※6:1号機T/Bの最下階の床レベルはT.P.443mm

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8
東京電力ホールディングス株式会社

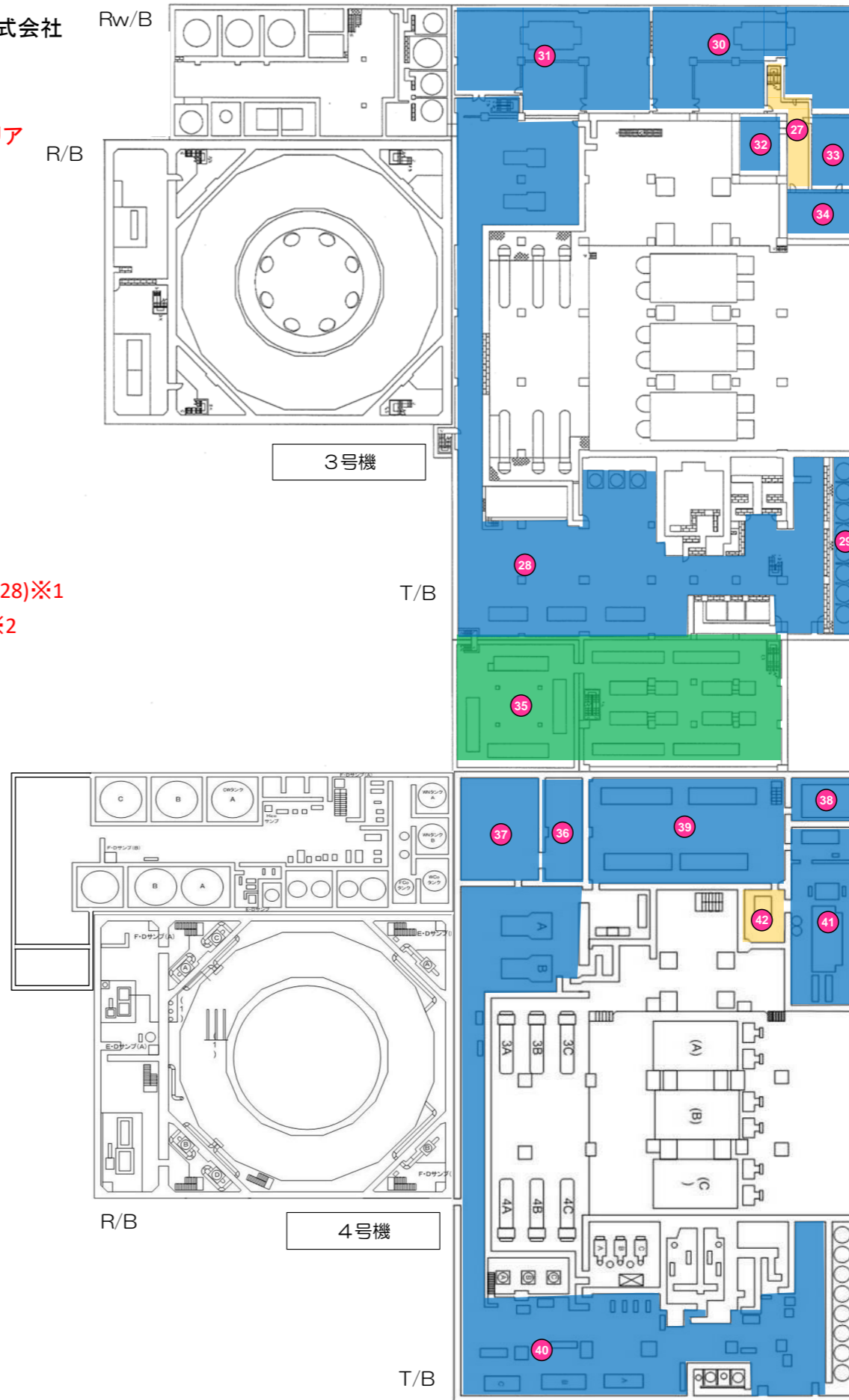
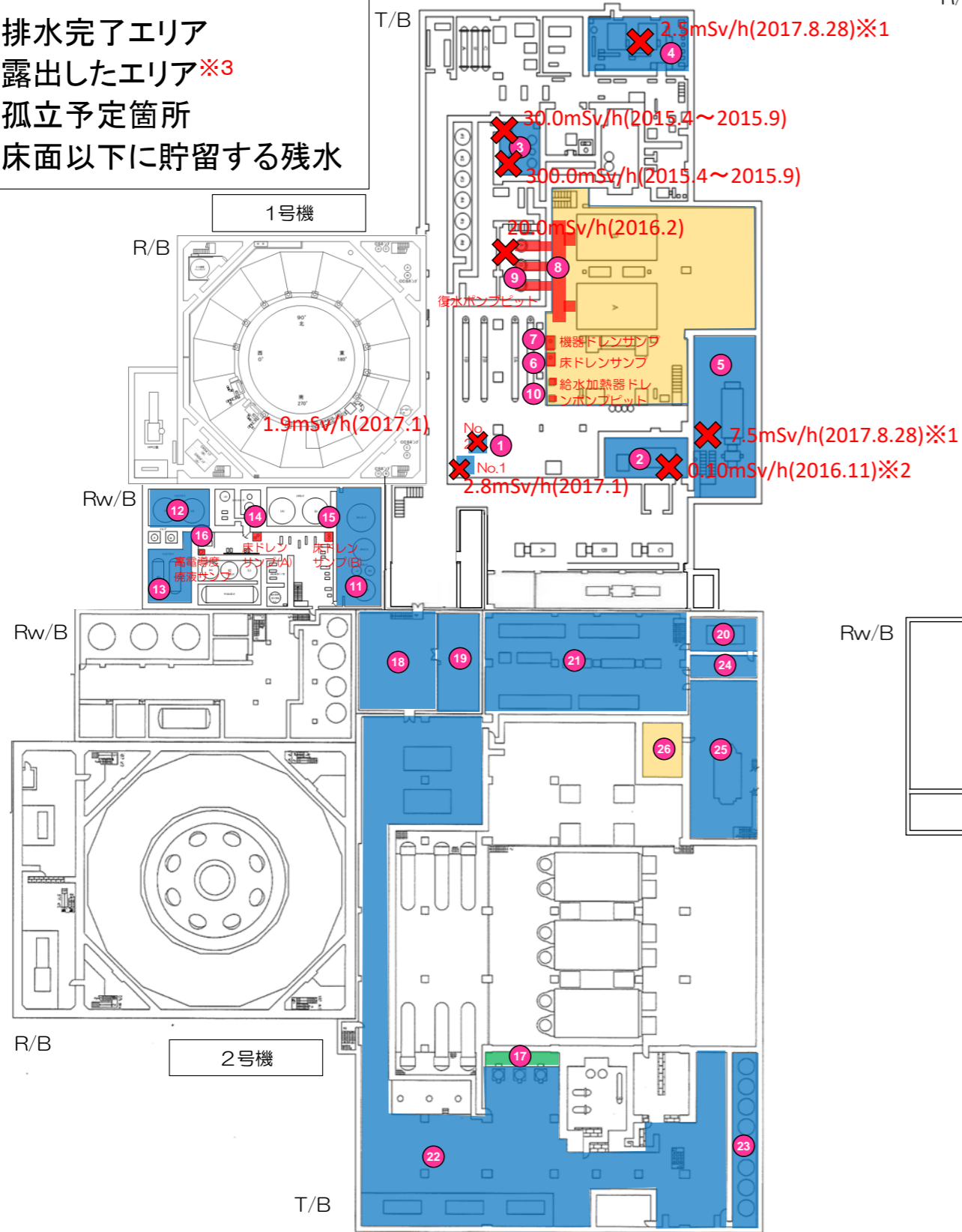
水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のままと判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水



福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

東京電力ホールディングス株式会社
2022年8月5日

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1, 11, 12}	保管容量 ^{※1, 12}	管理方法		主要 核種
							実施内容 ^{※9}	頻度	
Ⅲ 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	・地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 ・フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等） ・設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等） ・設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等） ・工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等） ・回収した土壌	屋外	・屋外集積（～0.1mSv/h）	234,400 m ³ [+600 m ³]	266,300 m ³ (299,000 m ³)	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・巡視を行い、容器の転倒、落下や養生シートに破れがないこと、その他異常が無いことを確認	—	Cs-137 Cs-134 等 ^{※7}
				・シート養生（～1mSv/h）	47,900 m ³ [+500 m ³]	50,700 m ³ (77,400 m ³)		週1回	
				・覆土式一時保管施設、容器収納（1mSv/h～30mSv/h）	16,800 m ³ [微減 m ³]	17,900 m ³ (18,500 m ³)		週1回	
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納	27,800 m ³ [+100 m ³]	39,600 m ³ (64,700 m ³)	・空間線量率を測定し表示	6ヶ月に1回 ^{※2}	
				瓦礫類の合計		326,800 m ³ [+1,100 m ³]	374,400 m ³ (459,500 m ³)	・空气中的放射性物質濃度を測定	
	使用済保護衣等	・タイバック ・下着類 ・ゴム手袋 ・その他保護衣、保護具	屋外	・容器収納	31,100 m ³ [+800 m ³]	52,500 m ³ (58,700 m ³)	・槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式一時保管施設）	週1回 ^{※3}	
			建屋	・袋詰め			・煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）、空気の揺らぎが発生していないこと（屋外集積の伐採木）	週1回 ^{※3}	
	伐採木	・枝葉根	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m ³ [0 m ³]	41,600 m ³	・伐採木一時保管槽における温度監視	週1回 ^{※3}	
				・屋外集積	1,900 m ³ [+500 m ³]	6,000 m ³	・保管量を確認し、保管容量が確保されていることを確認	月1回	
		・幹根	90,000 m ³ [-4,700 m ³]	128,000 m ³					
		—		伐採木の合計		129,200 m ³ [-4,200 m ³]	175,600 m ³ (175,600 m ³)	—	
	Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二次廃棄物（水処理により放射性物質を濃縮した廃棄物）	凝集沈殿物	廃スラッジ貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	422 m ³ [0 m ³]	700 m ³	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視	
使用済セシウム吸着塔一時保管施設				・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	4,016 本 [+10 本]	4,192 本	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	— —	
			・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）			・巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認	—		
			・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約1.2mSv/h）	394 本 [+3 本]	584 本				
			・吸着材（前置フィルタ含む）	・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）			・貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保されていることを確認	週1回	
			・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）	978 本 [0 本]	1,596 本				
			フィルタ	・容器収納【モバイル型Sr除去装置】（最大約0.5mSv/h）			瓦礫類に含む	瓦礫類と同様	
・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）									
固体廃棄物貯蔵庫			・容器収納【サブドレン他浄化装置】			瓦礫類に含む	瓦礫類と同様		
			・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）						
・RO装置のフィルタ類	屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）			瓦礫類に含む	瓦礫類と同様	—		
樹脂	固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）			瓦礫類に含む	瓦礫類と同様			
		・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）							

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1, 11, 12}	保管容量 ^{※1, 11, 12}	管理方法		主要 核種	
							実施内容 ^{※9}	頻度		
III 第1編 38条 第2編 87条	放射性固 体廃棄物 等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄 物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 (約318,500 本相当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量 の確認	月1回	Co-60 等	
				・その他	ドラム缶 10,155 本					
		・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	・ドラム缶収納、ボックスコンテナ収納	2,927 本 [+152 本]						
		・使用済制御棒等	サイトバ ンカ	・水中保管	12,125 本 193 m ³ ^{※4}	—		・事故前の保管量の推定値により確認		3ヶ月に1 回
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,546 m ³ ^{※5}	—		・貯蔵量の確認 ^{※8}		3ヶ月に1 回
		・使用済制御棒等	使用済燃 料プール	・水中貯蔵	11,422 本 ^{※6}	—	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回		
							・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1 回		
— ^{※10}	瓦礫等	・回収した瓦礫等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	63,900 m ³ [-1,100 m ³]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137 等	
			建屋	・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	800 m ³ [微減 m ³]				
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	-	・容器収納、容器収納の上 シート養生	—	100 m ³ [0 m ³]				
			仮設集積の合計		—	64,900 m ³ [-1,100 m ³]				

- ※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物（焼却灰等）は2022年6月30日現在、水処理二次廃棄物は2022年6月30日現在の保管量及び保管容量である。尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に（ ）で記載している保管容量は、実施計画（2022年5月9日認可）に記載している保管容量である。
- ※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。
- ※3 6月～9月は、1週間に3回。
- ※4 2022年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他（シュラウド切断片等）：193m³。
- ※5 2022年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,398m³、造粒固化体：1,148m³。
- ※6 2022年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。
- ※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×10³年）、Ni-63（半減期：約1.0×10²年）、Se-79（半減期：約1.1×10⁶年）、Tc-99（半減期：約2.1×10⁵年）、I-129（半減期：約1.6×10⁷年）等が検出されているものがある。
- ※8 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。
- ※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画（2022年5月9日認可）に未記載。
- ※10 仮設集積しているのは、瓦礫類、伐採木、水処理二次廃棄物等であり、QJ-54・1F-R5-002 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。
- ※11 []は、当該の報告とその前月との差を示している。
- ※12 一部の値について端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m³未満の増減を微増・微減と示している。

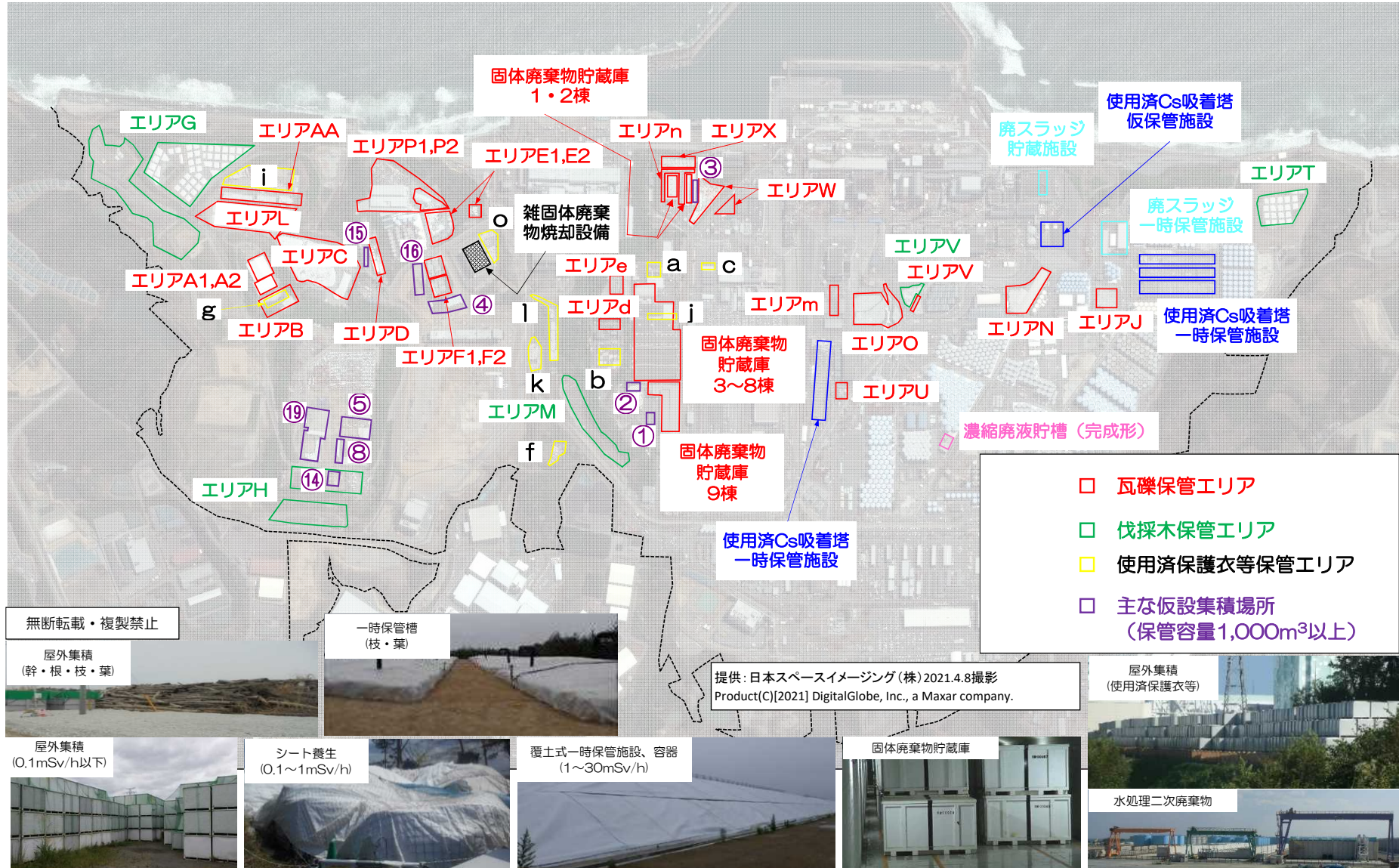
ガレキの保管量の現状※1, 2, 3

保管形態	受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量	保管量	前回比	保管容量合計	保管量合計	2022年度末 想定保管量※4
屋外集積 (~0.1mSv/h)	≦0.001	AA	36,400 m ³	21,400 m ³	+100 m ³	266,300 m ³	234,400 m ³	271,900 m ³
	≦0.005	A2	9,500 m ³	- m ³ ※5	- m ³ ※5			
		J	6,300 m ³	6,200 m ³	0 m ³			
	≦0.01	A1	4,300 m ³	- m ³ ※5	- m ³ ※5			
		B	5,300 m ³	5,300 m ³	0 m ³			
		C	31,000 m ³	31,000 m ³	0 m ³			
	≦0.025	C	35,000 m ³	33,900 m ³	+200 m ³			
	≦0.028	U	800 m ³	700 m ³	0 m ³			
	≦0.1	C	1,000 m ³	1,000 m ³	0 m ³			
		F2	6,400 m ³	6,400 m ³	0 m ³			
		N	9,700 m ³	9,600 m ³	0 m ³			
		O	44,100 m ³	44,000 m ³	0 m ³			
		P1	62,700 m ³	62,600 m ³	0 m ³			
		V	6,000 m ³	6,000 m ³	0 m ³			
d		1,200 m ³	1,200 m ³	0 m ³				
e	6,700 m ³	5,000 m ³	+300 m ³					
シート養生 (~1mSv/h)	≦0.3	D	2,700 m ³	2,600 m ³	0 m ³	50,700 m ³	47,900 m ³	77,100 m ³
	≦1	E1	15,400 m ³	14,700 m ³	微減 m ³			
		P2	6,700 m ³	5,800 m ³	0 m ³			
		W1	11,600 m ³	10,500 m ³	0 m ³			
		W2	0 m ³	0 m ³	0 m ³			
		X	7,900 m ³	7,800 m ³	微増 m ³			
		m	3,100 m ³	3,000 m ³	0 m ³			
	n	3,300 m ³	3,300 m ³	+400 m ³				
覆土式一時保管施設、容器収納 (1mSv/h~30mSv/h)	≦10	F1	700 m ³	200 m ³	微減 m ³	17,900 m ³	16,800 m ³	33,600 m ³
	≦30	E2	1,200 m ³	600 m ³	微減 m ³			
		L	16,000 m ³	16,000 m ³	0 m ³			

仮設集積の管理状況※1, 2

分類	場所	保管容量	保管量	前回比
仮設集積※6	①	3,000 m ³	2,700 m ³	0 m ³
	②	3,000 m ³	3,000 m ³	0 m ³
	③	2,000 m ³	1,600 m ³	+900 m ³
	④	7,700 m ³	5,400 m ³	-2,200 m ³
	⑤	14,000 m ³	13,000 m ³	0 m ³
	⑥			
	⑦			
	⑧	4,500 m ³	3,400 m ³	-100 m ³
	⑨			
	⑩			
	⑪			
	⑫			
	⑬			
	⑭	2,200 m ³	2,200 m ³	0 m ³
	⑮	2,000 m ³	2,000 m ³	+100 m ³
	⑯	3,600 m ³	2,600 m ³	0 m ³
	⑰			
	⑱	20,700 m ³	12,500 m ³	-2,000 m ³

※1 瓦礫類、仮設集積物は2022年6月30日現在の保管量及び保管容量である。保管容量は運用上の上限を示している。
 ※2 一部の値について端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m³未満の増減を微増・微減と示している。
 ※3 各受入目安線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。
 ※4 瓦礫類の想定保管量は、実施計画（2022年5月9日認可）の予測値を示している。
 ※5 エリアA1及びA2は低線量エリアとした（2020年1月6日認可）が、移行期間のため「-」と記載。
 ※6 保管容量が1,000m³以上の仮設集積場所について記載。



S r 処理水等貯留タンクの連結運用制限見直し

2022年 8月 5日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

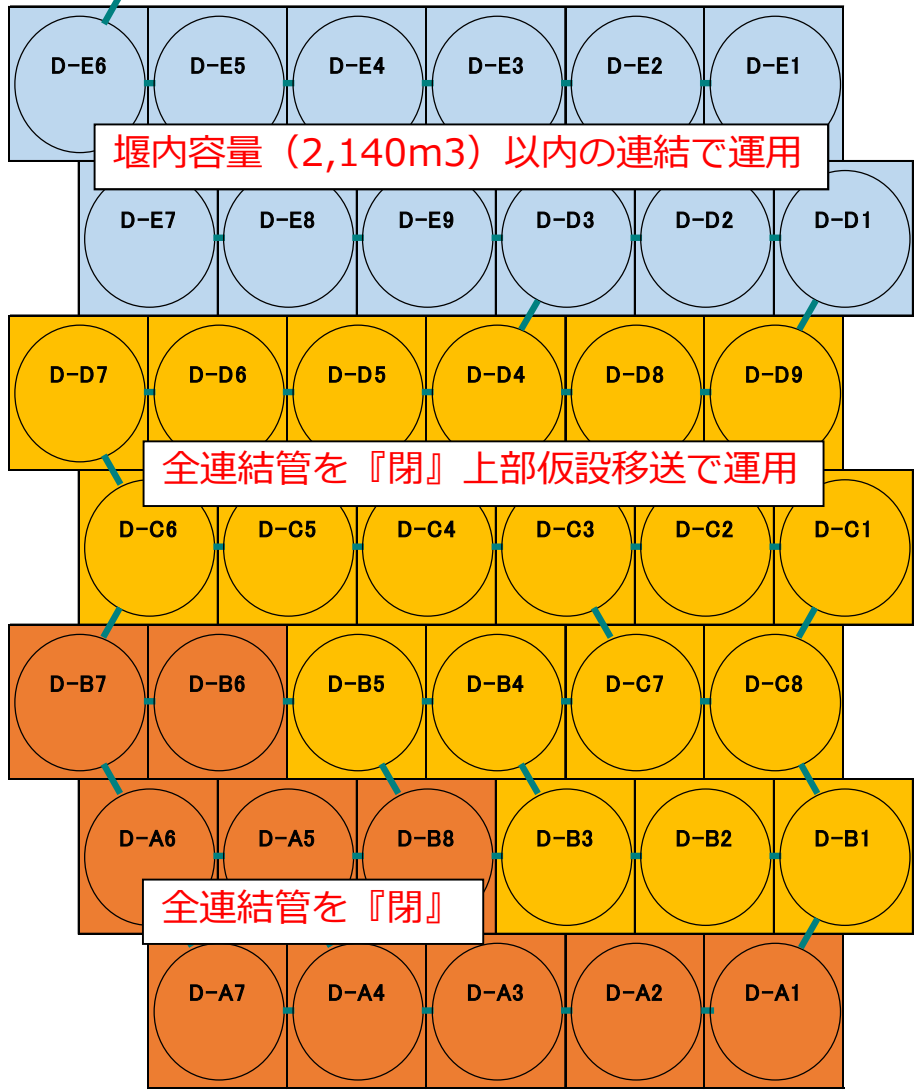
- 2021年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震により、一部のタンクが滑動し、メーカー許容変位値を超えて変形した連結管が発生したため、原則連結弁は「閉」としている。
- 但し淡水（炉注用水）・Sr処理水運用タンクは、炉注やALPS処理の円滑な運用のために、一定の条件下で連結運用している。
- 一方、Sr処理水タンクからALPS処理水タンクへの再利用も並行して進めており、そのために生じる条件の変更を踏まえ、[連結運用制限の見直しを実施する。](#)
- なお、対外的に説明しているSr処理水の運用容量（2.5万m³）には影響しない。

	貯留水	基数	応急処置
Dエリア	RO濃縮水(Sr処理水等)	19基	全連結管を『閉』上部仮設移送で運用
Dエリア	RO処理水（淡水）	12基	堰内容量(2,140m ³)以内の連結で運用
H8-Aエリア	RO濃縮水(Sr処理水等)	5基	全連結管を『開』漏えい時の移送先（H8-B群）を確保して運用



	貯留水	基数	応急処置
Dエリア	RO濃縮水(Sr処理水等) RO処理水（淡水）	19基 12基	堰内容量(2,140m ³)に加え、空タンク5基（約5,000m ³ ）を確保することにより、約7,140m ³ 以内の連結で運用（必要に応じ上部仮設移送実施）
H8-Aエリア	RO濃縮水(Sr処理水等)	5基	全連結管を『閉』上部仮設移送で運用

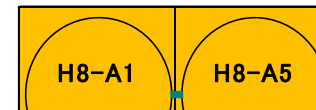
2. 現状の運用状況と条件変化



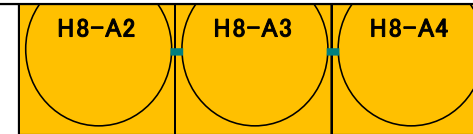
RO淡水 Sr処理水 濃縮廃液

【Dエリア】

- これまで、H8-Aエリア漏えい時の緊急移送先の空タンクとして確保していたH8-Bエリアのタンクには、処理途上水の移送を進めている（タンク再利用）。
- 空タンクの減少のため、H8-Aエリアの連結弁は段階的に「閉」にしていく必要がある。

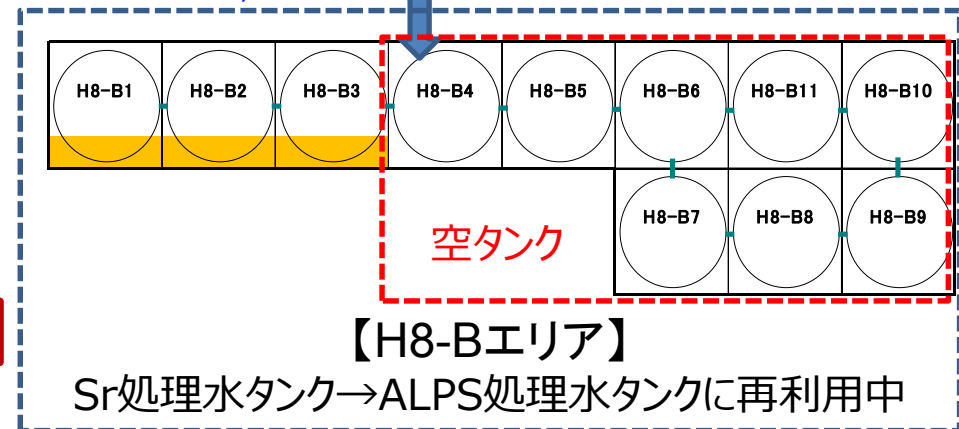


漏えい時の移送先として（H8-Bエリア：下記）を確保⇒A群5基の全連結管を『開』運用



【H8-Aエリア】

処理途上水
(H1エリアC群)
の受入れ (7/13~)



【H8-Bエリア】

Sr処理水タンク→ALPS処理水タンクに再利用中

【Dエリア】

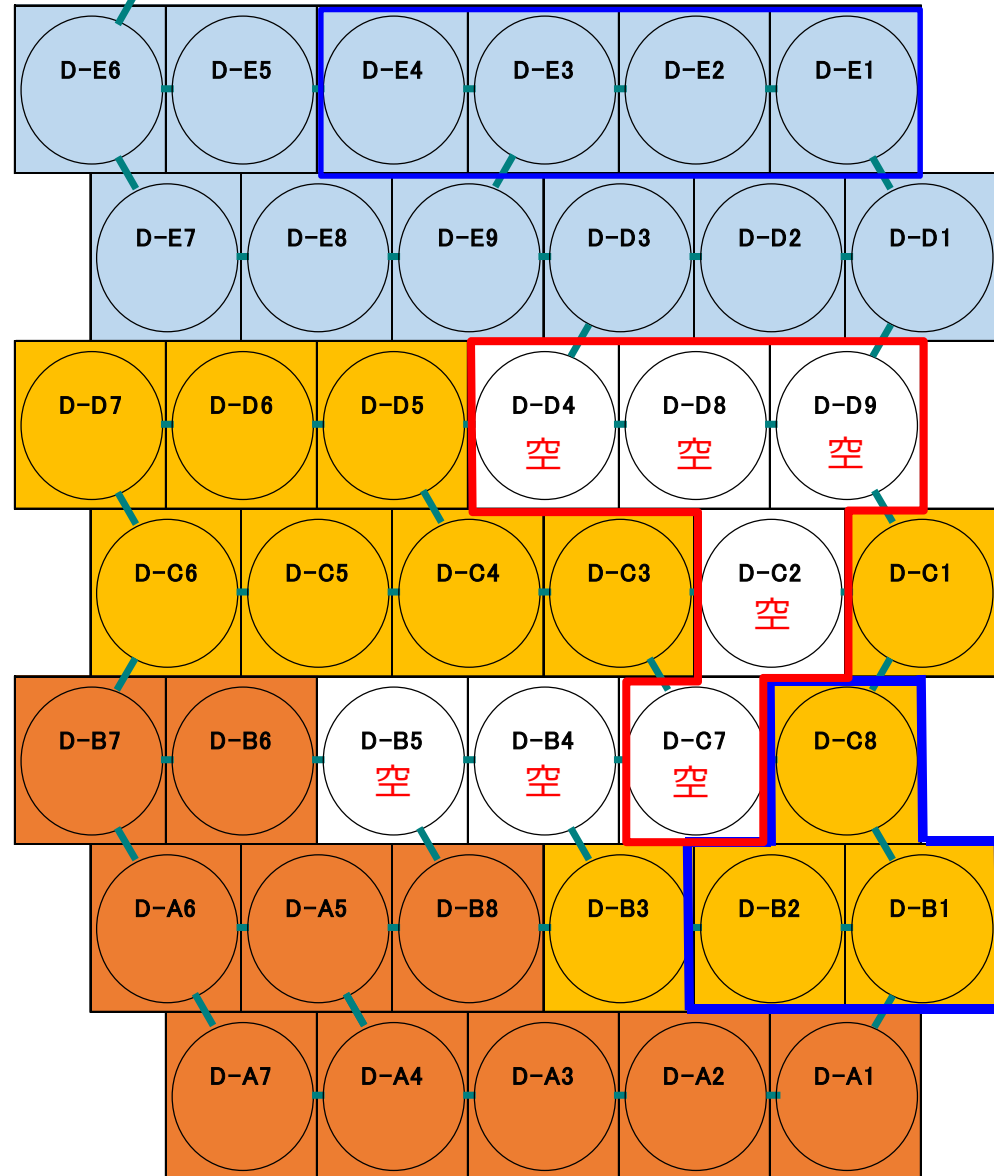
- タンクの連結は、約7,140m³以内とする。（□は一例）
- 地震時の連結管破断に備え、堰内に移送ポンプを準備し、移送が可能な設備構成と体制を構築する。
（空タンク5基：約5,000m³の空き容量確保。□は一例）
（堰内貯留：約2,140m³）
- 空タンクを5基確保出来ない場合は、連結容量を減らす

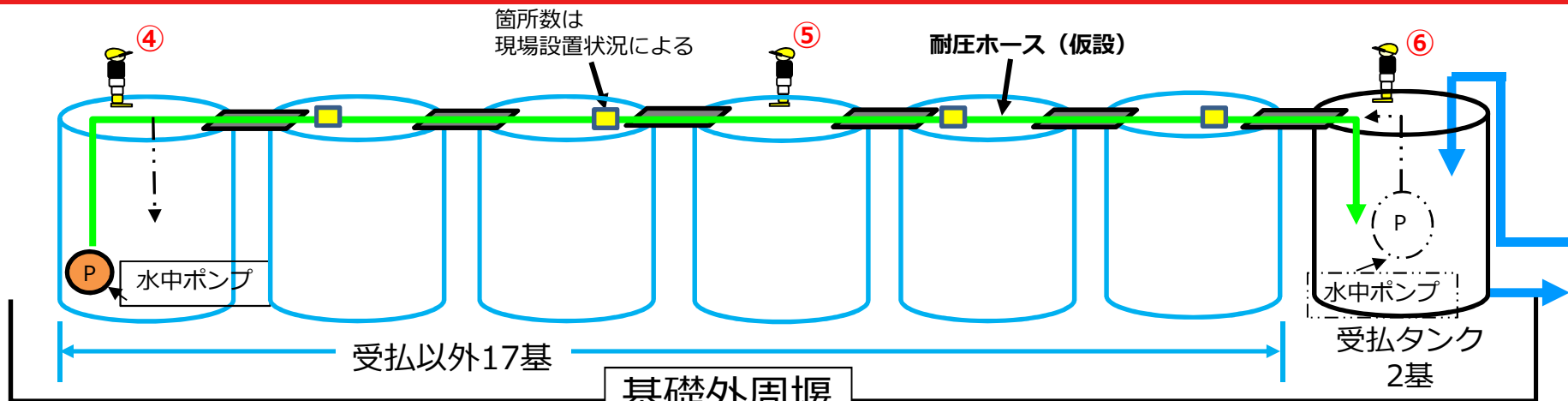
【H8-Aエリア】

- これまでDエリアにて実施していた上部仮設移送で運用

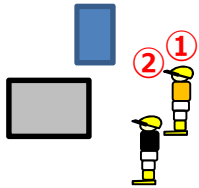
準備が整い次第、運用開始

【Dエリア 2022.7末時点の貯蔵状況】



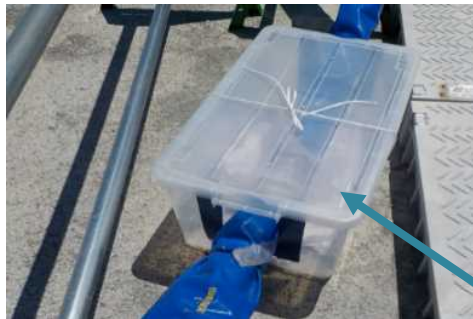


ポンプ起動停止用仮設発電機 (堰外)
漏えい検知警報盤 (堰外)



基礎外周堰
免震棟orCCR
受払タンク
水位計確認

○P : 仮設水中ポンプ
— : 仮設ライン (耐圧ホース) → 最長約100m
■ : 耐圧ホース接続箇所
— : 受払い配管 (PE管)



【耐圧ホース接続箇所】

耐圧ホース (二重化)
接続箇所に受けパンを
設置し、受けパン内に
漏えい検知器を取り付
ける。漏えい時は警報
盤にてランプ点灯及び
、アラーム音で漏えい
を知らせる。

【補足】

- 受払い配管 (PE管) は、可撓性により耐震性を確保しており、目視で有意な変位・漏えいが無い事は確認済
- 耐圧ホースは二重化して使用
- 耐圧ホースは、ガイドに則り下記項目を確認 (金具の異常有無・ホース外傷有無等)
確認の結果、異常が確認された場合は、交換を実施
- 耐圧ホースの使用期間は、タンク移送完了の都度、ホース取付・取外を繰り返すことより、コネクタ部の破損やホース布設によるかき傷の可能性を考慮し、最長3か月で管理
- 移送は昼間の監視員が居る場合のみ実施
- 日々の移送完了後は空気圧送し、ホース内残水を移送する

- ・ H8-Aエリアについては、5基連結した状態で運用する事とするが、地震時の連結管破断に備え、堰内に移送ポンプ等を準備し、H8-Bエリアに移送が可能な設備構成と体制を構築している。

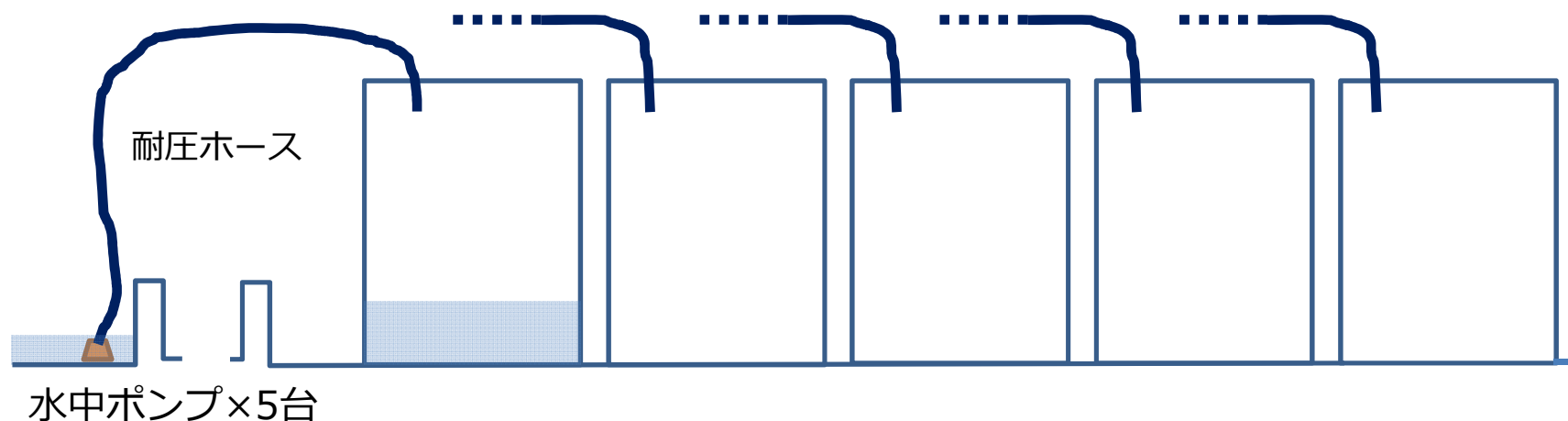
移送能力	177.5m ³ /h (35.5m ³ /h×5台) ^{※1}
受入可能容量	5,000m ³ (1,000m ³ ×5基) ^{※2}

※1 現場にて確保可能な容量。なお、連結管に直径5cm程度の穴が生じた場合の漏えい量は約100m³/hとなる。

※2 5基分が全量漏れた場合においても受け入れ可能な容量。

〈H8-Aエリア堰内〉

〈H8-Bエリア〉



※Dエリアも同様に約100m³/hの漏えいを想定する。約20時間は堰内容量に貯留する事が出来るため、20時間以内に水中ポンプを稼働可能な体制を構築する。